

平成27年1月1日から

# 「障害者総合支援法」の対象となる疾病(難病)が151に拡大されました



平成27年1月1日から「障害福祉サービスなど※1」の対象となる疾病(難病)が、130から151へ拡大されました。

対象となる方は、障害手帳※2をお持ちでなくても、必要と認められた支援が受けられます。

※1 障害者・障害児は、障害福祉サービス・相談支援・補装具及び地域生活支援事業(障害児は、障害児通所支援と障害児入所支援も含む)

※2 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳

〈対象となる方〉国が指定する151疾病(難病)に該当する方

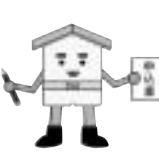
※対象疾病(難病)や手続きの方法については、保健福祉課までお問い合わせください。

保健福祉課 福祉介護係 ☎(44)2300 内線917

## 農業集落排水への接続のお願い



矢吹町の農業集落排水事業は、現在5地区(大和久・本村・三城目・寺内・松倉)を整備し供用を開始しており、約75%の世帯が利用しています。農業集落排水は、農業用水の水質保全、さらには農村の生活環境改善を目的とした小規模な下水道です。



地域全体の接続により、川や海がきれいになり、気持ちよい生活ができるようになります。そのため多くの皆さんの接続が必要です。住みやすい環境を作るために、接続のご協力をお願いします。

接続を希望される方、農業集落排水についてご不明点がある方は、上下水道課までご連絡ください。

上下水道課 事業係 ☎(44)5152

## 国民年金の第一号被保険者の皆様へ ～国民年金基金制度のご案内～



- 国民年金基金は、自営業、農業などの国民年金の第一号被保険者の方々が、ゆとりある老後を過ごせるよう、国民年金に上乘せる公的な年金制度です。
- 加入できるのは、国民年金に加入している20歳以上60歳未満の方及び60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方です。
- 加入は任意で、いろいろな年金のタイプから現在の状況や将来設計に合わせて選ぶことができます。
- 年金受給前や保証期間内にお亡くなりになった場合、ご家族に一時金が支払われます。(保証がないタイプの年金もご用意しています)
- 掛金は全額社会保険料控除、受取る年金は公的年金等控除の対象になり、税制面で優遇されます。

国民年金基金についてのお問い合わせ先  
フリーダイヤル ☎0120(65)4192  
〒960-8043 福島市中町1番19号 中町ビル5F  
ホームページ <http://www.fnpf.or.jp/>

### 肌再生治療のモニター募集!

モニターを5名限定で募集。  
ダーマペンとベネブ社の肌再生促進剤を使用した肌の再生、しみ・しわの改善、ニキビや妊娠線、傷の癒傷に利用できる治療法です。

歯科美容医療研究会 専門医  
たまち歯科医院 院長 佐久間 弘

### 地域実績No.1 HAインプラント

「漬物が食べたい!」  
HAインプラントなら食べたいものがいつでも食べられます。  
HAインプラントの新・小冊子発行

入れ歯・インプラントセンター 専門医  
たまち歯科医院 院長 佐久間 弘  
矢吹町田町191-4 ☎0248-44-4889

### 私のひとこと



矢吹町長  
野崎吉郎

「花燃ゆ」に思う

NHK大河ドラマ「花燃ゆ」が、正月1月4日に始まった。吉田松陰、高杉晋作等の長州萩藩士が活躍した幕末から維新、明治へと時代を変えた若き志士の熱き青春群像、そして彼らと共に生きた、吉田松陰の妹「文」の生涯にスポットを当てたドラマだ。長州萩藩の下級武士の娘として生を受けた、このドラマの主人公「杉文」の生き様は、余りにも有名な松陰や高杉等の志士たちと違って、史実に詳細な記述はないという。それだけに、敢えて女性の立場からの幕末、そして維新という激動の時代を見続け、明治、大正時代を生き抜いたヒロイン「文」のドラマの今後の展開が楽しみだ。主役を演じる女優は「井上真央」。小柄な体、額

が広く、まん丸顔で、目の大きな女優。覚えている方も大勢いると思いますが、3年前の平成23年、NHK朝の連続TV小説「おひさま」の主人公「陽子」役を演じた女優でもある。笑顔が素敵な女優として印象が深い。なお、ヒロインが「井上真央」といった理由だけで、この誌面を書き進めている訳ではない。このドラマが始まったことで、頭に浮んだいくつかを皆さんにお話したい為に書いていることをまず皆さんに知って貰いたい。

一つには、2年前の会津を舞台にした、やはりNHK大河ドラマの「八重の桜」の「八重」と、どうしても比較してしまう私が居ることも否定出来ない。長州と会津、官軍と幕府軍、勝者と敗者といった構図は、両ドラマの放送間隔が短いだけに、NHKのドラマ制作者の意図を意識しない訳にはいかない。ただ、そうした意図を否定するものでもなく、甘んじてその意図を受け入れ、長州から見た幕末、維新、そして同時期に生きた

「文」の生き様、また、彼女の目を通したドラマの展開を存分に楽しんでみたいし、見守りたい。二つには、やはり吉田松陰の人間像を、このドラマを通して再確認したいが為である。維新の立役者であり、時代を変えるに至った彼の思想と行動を再びドラマを通して検証していきたい。松下村塾に学び、そこに名を連ねた、勤王の若き志士たちの心と体をどう揺り動かしたのかを。幼い頃から秀でた才能を発揮し、幕末の日本の行末を案じた幕末を代表する思想家、教育者であった松陰。彼の考えや生き方を賞賛する書物は数多く、余りに有名なことから詳細な説明は省かせて頂くが、一方で、その後、折々に得た知識として、意外な松陰の一面、例えば、深謀遠慮に欠けた人、激情の人でもあったと聞けば、また興味をそえられる。そのような一面もあったというところが中々面白く、ドラマを通して確かめてみたい。

そんな維新の傑物「吉田松陰」を初めて意識したのは、いつ頃だっただろうか。中学生の歴史で名前は知っていたが、興味として思い抱いたのは、やはり20代後半だったと思う。その中でも、やはり一番印象に残ったことは、彼が処刑されるまでの僅かな時間で書き上げた「留魂録」の存在だ。強烈な印象だった。身はたとい武蔵の野辺に朽ちぬとも 留め置かまし大和魂。余りにも有名な松陰辞世の句。至誠にして動かざるものは 未だこれ有らざるなり。これは孟子の句だ。この書の中の、この二つの句は忘れられない。自分の年と重ね合わせて、松陰という人間の偉大さ、思慮の深さ、知識の奥深さを知るにつけ、自分の心の弱さ、生き方を戒めたものだ。そして、最後にもう一人。ヒロイン「杉文」の話に戻るが、「文」の人生に大きく関わる「小田村伊之助」にも少々触れたい。少女期

の「文」が淡い恋心を抱く「伊之助」の存在を知ったのは、恥ずかしながら、初回のこのドラマを見てからである。楽しみは、今後の「文」の淡い恋心の行方と、「伊之助」の今後の活躍である。「小田村伊之助」の人間的魅力、業績を知れば知るほど物凄い。そうとしか表現出来ない。何故これ程の人物が、私の知識の器に入ってきたのか、不思議でならない。このドラマで「伊之助」を知ったことは大きな収穫であり、この後のドラマの続きがまた楽しみである。繰り返すことになるが、このドラマがスタートするといった時は、長州・会津の展開になるんだろうな。と、少々複雑な思いも抱いたが、考え直すことにした。初回のドラマの展開を見てそう決めた。

次回のオンエアを楽しみにしながら、今年一年の平穩無事を祈りつつ、今月のひとこととする。